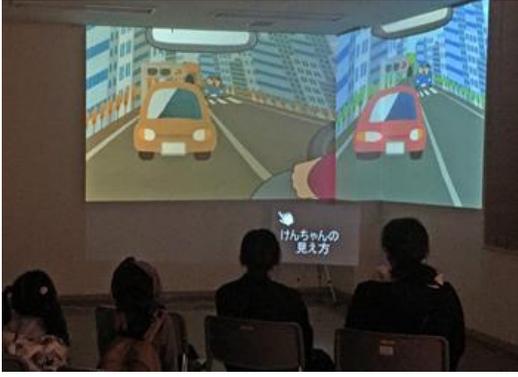


活動名	カラーバリアフリー社会実現をめざして	団体名称	NPO法人 True Colors	
		活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動	
		活動の目的	⑧その他	
■申請書の活動概要<150~200字>		■申請書のスケジュール	■各スケジュールごとの活動内容	
色に溢れた空間を創ったり、光の空間を創ったり、色の見え方の仕組みや、色は光でできていること、色の見え方は、それぞれ違うのは何故?など、色覚多数派も色覚少数派の子ども達もお互いの色の見え方を体験しながら分かり合える「体験型イベント」を大阪・東京で開催。		2017.9月全体の流れ 2018.3月大阪会場イベント開催 4月東京会場打合せ場所日時など、集客、広報2018.7~8月東京イベント実施	2018.3月25日(日)大阪会場イベント実施 大阪府箕面市みのおキューズモールみのお市民活動センターにて色覚体験イベント実施。  プロジェクションマッピングや緑の部屋で絵を描くことで色と光の関係など表現。色覚体験コーナーでは色覚少数派も色覚多数派も参加。	
■活動目標	色の見え方は、それぞれ違うということを分かり合えること。特に色の見え方が違う色覚少数派にとって苦労や不便が軽減される社会をめざしています。			
■長期成果	色覚少数派は先天遺伝で医療で治癒しないことから、苦手な色を見ることを諦めています。カラーバリアフリー社会で多くの方が識別しやすい環境になります。同時に自分自身の色の見え方を補正レンズにより、解決改善できます(当事者の98.2%)。諦めていた進路選択や趣味や仕事に希望を持てるようになります。カラーバリアフリーを環境と自分自身に感じられる社会に。			
■活動風景				
				
【色覚体験・補正レンズ体験】		【プロジェクションマッピング】		【みどりの光の部屋でお絵描き】
上期の成果と下半期に向けた改善点			■実施体制	
<b>&lt;上期の成果&gt;</b> 大阪イベント来場者148名 ◇色覚少数派→多数派体験 13名 ◇色覚多数派→少数派体験 82名 ○子育て支援のNPOとの共催の為、子どもが小さすぎる傾向があり体験が思ったより少ない。子どもの年齢は5歳からくらいでないと、色が分からない。 ○プロジェクションマッピングや緑のお部屋でのお絵描きは好評。 ○アニメは中学校を中心とした話し合いのために制作しているので、少し難しかった。 ○多くのところとコラボしているので、それぞれのホームページやブログに「色の見え方はそれぞれ違う」が表現され拡散されていった。 ○イベントの告知が新聞媒体に掲載されたので、色の見え方で悩む方が早くから来場された。			<b>&lt;主催&gt;</b> <b>NPO法人 True Colors</b> ・色覚体験コーナー(体験レンズ・補正レンズで、見え方体験) ・アニメ動画「不思議の色の国のアリスちゃん」 ・紙芝居「絵本・けんちゃんの色」 担当:NPO法人 True Colors ・プロジェクションマッピング「けんちゃんのお出かけ」 (色は光でできている・色の見え方の違いの説明) 担当:愛知工科大学工学部 加藤ゼミ ・いつもと違う緑の部屋で絵を描くコーナー (色覚少数派の見え方で絵を描いてみたら…) 担当:NPO法人 ライフスキル研究所	
<b>&lt;下半期に向けた改善点&gt;</b> ○大阪でのイベントは、知り合いが多い中でコラボしたり媒体告知が出来たけれど、東京ではそうもいかない →認定NPO法人大阪NPOセンターの協力を得て進めていく。 ○共催は賑わいがあるが、華やかではあるが、カラーバリアフリーの観点が少し薄れたので東京では全面的にカラーバリアフリーイベント「見えてる色はそれぞれ違う」を打ち出す。			<b>&lt;共催&gt;</b> <b>NPO法人 ママトリエ</b> ・色をテーマに、物作り、癒し、ハンドメイドコーナー etc. 担当:NPO法人 ママトリエ	
〒541-0056 (住所)大阪府大阪市中央区久太郎町4-2-10ネオ・ダルトン(株)内 (団体名)特定非営利活動法人True Colors (ホームページ):http://www.truecolors.jp			助成金額 1,000,000円	
			助成期間	
			H29.9.1~H30.8.31	

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。